

耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務局

☎052-157-1955

kuwahara@kuwahara.org

阪神フアンの皆さん、優勝おめでとうございます!! 中日も来年は頑張ってもらいたいものです。

政策のマジックナンバー

優勝が近くなるとマジックナンバーが減るのが待ち遠しいですね。マジックナンバーと言え、政治の世界でも不思議な数字が語られています。小泉さんが言い始めた名目成長率 2% もそのひとつです。

そもそも、それをどうやって実現するかについては何も情報がありません。手段が種明かしされないと、どこは実にマジック的です。仮にできるとしたら、なぜ今までやらなかったのでしょうか。練習していたのでしょうか。

年金制度でもマジックナンバーが出てきました。坂口大臣が公表した来年の年金制度改革の試案です。

ポイントが 3 つです。150 兆円の過去の積立金を取り崩して今後の給付に使う、

今後の給付水準を現役世代の 55% とする (現在は 59%)、保険料の上限を年収の 20% とする (現在 13.58%) ということのようにです。

さて、崩壊寸前の年金制度は、これでマジックのように立て直せるのでしょうか。過去に何度も現行制度を前提とした変更を行ってきました。しかし、年金受給開始年齢が「逃げ水」のようにドンドン後ろ倒しになってきました。まさしくマジックです。

制度改革に失敗してきた過去の政治家、官僚の皆さんは、言ってみればステージの上で何度もマジックを失敗したマジシャンたちです。でも、まだそのマジシャンがステージの上にはいます。「さあ、皆様、今度は驚くべきマジックをご披露致します。真っ黒な年金制度がパッと真っ赤なバラ色に変わります」と言われても、「へえ、できるならやってみたら」という感じ

です。

マジシャン交代 II 政権交代

150 兆円は本当に今もあるのか、特殊法人や公共事業に援用して焦げ付いているのではないのか。給付水準を引き下げや保険料引き上げを打ち出す前に、無駄な歳出を止めて年金財源を捻出できないのか。年金財源で高額退職金を得たり、企業の厚生年金基金に天下ってノホンとしてきた「年金官僚」の責任はどうなるのか。これまでのマジックの失敗の原因と責任を明らかにしなくては、新しいマジックの成功など到底信用できません。

料金 (保険料) を払ってマジック (年金制度) を楽しみに行っている観客 (国民) の皆さん、今度は騙されたくないでください。マジシャン (政権 + 官僚) を交代させてみるのも一興ですよ。

覚王山ソウカツコーナー

—— 覚王山近辺の名店を続々と紹介します！ ——
<今回ご紹介するのは、「多古八(たこ八)」さんです>

日泰寺の参道入口から約50メートルほどお寺に向かって進むと、右手に見えるのが「多古八(たこ八)」。「先代が東京で修行しているときにこの名前を思いついたらしい」と説明するのが、二代目のご主人である加藤清司郎さん(70歳)。

先代から続くこのお店は既に60年の営業歴、店の自慢はなんといっても、「串カツ(一本60円)」と、二代目が5年の研究の末に完成させた「どてめし(550円)」である。この「どて」、今では、わざわざ東京や九州から食べに来るお客さんがいるだけでなく、「お店に行けないがどうしても食べたい」という遠隔地の家族に冷凍して送るお客さんもいるのだとか。

「でも、やはり店で本当の味を楽しんで欲しいね」と言う加藤さん。加藤さんの「どて」を煮る技と串カツを揚げる手は、まさに職人芸の領域。皆さんも是非この多古八で、職人の技と味を堪能してください！

多古八(たこ八)さん

電話:052-762-7030

